

## 当社推奨油ラインアップ

### ● シェルテラスオイルS4M

特徴 耐摩耗性、極圧性に優れております。

代表性状

	密度(15℃)	引火点	流動点	色	粘度(40℃)	粘度(100℃)	粘度指数
シェルテラスオイルS2M22	0.860	216	-30.0	LO.5	22	4.3	104
シェルテラスオイルS2M32	0.869	224	-30.0	LO.5	32	5.5	107
シェルテラスオイルS2M46	0.845	236	-30.0	LO.5	46	6.9	104

荷姿 200Lドラム、20L缶

### ● シェルテラスオイルS4ME

特徴 合成油系作動油/長寿命/省エネルギー/高引火点—消防法上可燃性液体類/NAS7級

代表性状

	密度(15℃)	引火点	流動点	色	粘度(40℃)	粘度(100℃)	粘度指数
シェルテラスオイルS4ME32	0.831	256	-40.0	LO.5	32	6.3	135
シェルテラスオイルS4ME46	0.834	258	-40.0	LO.5	46	7.8	136

荷姿 200Lドラム、20L缶

### ● シェルナチュラルレHF-E

特徴 合成油系作動油/成分解性作動油/長寿命

代表性状

	密度(15℃)	引火点	流動点	色	粘度(40℃)	粘度(100℃)	粘度指数
シェルナチュラルレHF-E32	0.917	210	-50.0	緑	32	6.3	>90
シェルナチュラルレHF-E46	0.919	210	-50.0	緑	46	7.8	>90

荷姿 205Lドラム

### ● 粘度の選定

使用油種が決定したら、次に適正粘度グレードは、各種油圧ポンプの適正粘度範囲と作動油の粘度—温度特性図表によって選定します。粘度選定を誤ると下記のようなトラブルを起こす事があります。

#### 粘度選定の誤りによる弊害

#### ◆ 粘度が高すぎる場合

内部摩擦の増加(ポンプのすきま、弁などを作動油が通過する際の流体抵抗が増加する)  
 温度上昇  
 作動の不円滑  
 油圧システムの圧力損失の増大  
 動力消費量の増大

#### ◆ 粘度が低すぎる場合

内外部のすきまの漏れの増大  
 ポンプのすべりの増大(このためポンプ高率の低下、油温の上昇をきたす)  
 すべり部分の摩擦の増大  
 油圧システムの圧力低下  
 作動の精度低下

